

ユビキタスからホモユビキタスへ (2)

「ユビキタス」なネットワークは現実世界と仮想世界の境界を取り外し始めるということはどういうことでしょうか。ISDN, ADSL, CATV、無線など、これまで考えられなかった低価格でインターネットへ常時接続できる環境が現実構築されています。高速で常時接続できる環境が生活者の周りに存在すれば、その通信環境をつうじて、「おしゃべり」、「ショッピング」、「エンターテインメント」、「旅」「ビジネス」、「学習」などがそのネットワークに広がることになります。このネットワークに広がった世界が仮想世界で、現実世界と地続きになっていくと考えられます。この「ユビキタスネット」のノードとなるのが、情報通信機器であり、それらを構成する部品であり生活者自身でもあります。

ネットワークはヒトとヒト、ヒトとモノ、モノとモノを結合するおびただしいパイプを作り出しながらそれぞれを結合していきます。生活者は数多くのパイプを通じて自ら仮想世界に情報を発信するようになります。発信する情報は、実際に見たもの、実際に聞いたものから始まり、自分の振る舞いや記憶、周囲の環境から果ては人生までもを仮想世界に送り込むようになる可能性があります。これまでは実際に見たり、聞いたりしてきた情報が、ネット上から受け取ることができるわけですから、その逆にネット上に自分の知識から自分の感情までもを送り出す可能性があり、つまり、対面して伝えていたものがネット上の端末を通して送り込む、端末の向こうに相手を想定した仮想世界に対して自分自身を送り出す可能性があります。これはあたかもネットワークが人間の脳細胞のように複雑なネットワークを世界中に張り巡らすことによって作られる巨大な「脳」の出現ということができるかもしれない。端末からヒトが発した情報は有機的に接続されたネット上で処理され、「どこかの誰かが、自分の代わりに情報を手に入れ、そして別の誰かがその情報を自分のために処理してくれる」といった環境が生活の中で生じる多くの楽しみや問題、悩みの解決手段として提供されるようになります。さらに自らの記憶すらその一部をこの巨大な「脳」に委譲することも考えられます。

多くのヒトが共有する巨大な「脳」の出現は生活スタイルだけでなく、社会システム自体を変えていく可能性があります。さらにいえば、国家や地域、企業を前提とした現在の社会システムは大きく変貌を遂げる可能性があります。このような「ユビキタスネット」に対応した人類を「ホモユビキタス」と呼び、ここ数年のうちにネット上の仮想世界を生活の場として認識し、それを前提とした社会を構成することが考えられます。そうなったとき、技術や生活スタイル、社会システムなどこれまでの現実の世界で言われてきた多くの「常識」は常識とは呼べないものになり、これまで「非常識」であったものが常識になってもおかしくありません。そのすべてが「ユビキタス」から始まります。これまで単なる道具であったコンピュータ、ネットワークが、その中に情報を持ち、相互に接続することによって、ヒトはその中に知識を集約させ、ヒト全体で共有できるようになって、究極は知識を共有することになる。自分の記憶は実は他のヒトの記憶でもあるという状態になるかもしれません。

ただ、いくら仮想世界が発達したとしてももちろん現実の世界は存在し続けます。しかし、まるで以前書いた映画の話のようですが、ネット上の仮想世界と本当の現実の世界の判別がつかなくなる可能性は十分にあり、それに対応した新人類「ホモユビキタス」が出現することが考えられます。

(次回へ続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 7月30日号

特集 その技術，ユビキタス時代の非常識。

→高速なユビキタスネットがやってくるとCPUやメモリ，HDDの将来像が大きく変わってくる。処理と蓄積はネット上に広がり，今の常識は通用しなくなる。

解説 家庭に焦点 IP電話

→これまで一部の国際電話と企業を中心に利用が始まっていたIP(インターネット)電話。高速ネットワークの普及とIP端末への電話番号の割り当てなどによって家庭でも利用されるようになる。

○日経パソコン 7月23日/8月6日号

特集 やってみようHDD交換

→HDDを交換してディスク容量を増やし，処理速度アップもできる。HDDを交換するためのバックアップの取り方，取り付け方からデータ移行までやり方特集。

特集 小型軽量デジカメ10機種徹底比較

→気軽に持ち運べる小型軽量のデジカメが増えてきている。機能十分のデジカメの比較。

○日経バイト 8月号

特集 常時接続を活用するインターネットVPNのすべて

→インターネット上であたかもプライベートなネットワークのように利用しようとするVPN(Virtual Private Network)がADSLなどの常時接続環境の普及で注目され始めている。そのVPNの技術とセキュリティについて解説。

特集 インターネットP2P 第2段階へ

→P2PはPeer-to-Peerでネット上でクライアント同士を接続するもので，インターネット上では，これまでサービス提供者がすべての情報を提供するためにアクセスが集中していたのに対して，個々の端末の接続を仲介するようにするもので，インターネットに接続された個々の端末の性能をネット上で有効利用しようとする技術。

○日経ネットビジネス 7月25日号

特集 e-マーケットプレイス本物の条件

→企業間取引の中核になると考えられていたe-マーケットプレイス。実際は取引量が増えず低迷している。単なる幻想で終わってしまうのか。本物の条件とは。

フロント “作る”だけでは終わらない

→ネットを利用した商品開発。これまでの作るだけから企業と顧客のコミュニケーションツールとして利用し始めている。

フロント 雑談から薬物取引まで—正しい電子書名のやり方教えます

→「書面一括法」が施行され，書類のネットによる交換が50種類の書面で認められた。実際は電子署名のセキュリティの確保が確認されての対応となる。

○N+I MAGAZINE 8月号

特集 「来るべき」ネットワークテクノロメジー

→ネットワークの展示会で構築された「ShowNet」は現在での世界最高レベルのネットワーク環境。その中に来るべき近未来の技術が詰まっている。

特集 「ネットワークアナライザ」徹底理解

→ネットワークアナライザは安定動作の管理から利用状況、セキュリティの管理などその役割も拡大している。その機能と製品の紹介。

特集 入門・サーバPC

→30万以下の製品をモデルにサーバPCに求められるもの（安定性、信頼性）に対してサーバPCの対応を比較解説。

○ASCII 8月号

特集 開けない3大拡張のすべてがわかる！かしこい拡張カタログ

→PCのケースを開けなくても拡張できるUSB, IEEE1394, PCカードを使った拡張の解説。その性能実験から実際の拡張法まで。

特集 ネット買い物最新事情

→どんどん変貌を遂げる「ネット買い物」。どんどん安くなり、どんどん便利になるネット買い物の極意を探る。

○DOS/V magazine 8月15日号

特集 劇速マザー世界選手権

→ポストPentiumⅢ時代のマザーボードによる自作PCはどうか。Athlonを含めて比較。

特集 BIOS設定・攻めの「裏」ツボ

→真のパワーユーザとなるにはCPUクロックから電圧、メモリのアクセスタイミングなどの設定ができるBIOSを自由に取り扱うことが必要。アップデートとの完全習得から裏技まで。